

平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	都立調布北高等学校 全日制課程		進路特	実績	4年制大学	85%	短大	0%	専門学校	1%	就職	0%	その他	13.90%	
	自主自律 文武両道 文理両眼 グッドライ		平成31年入試(現役生): 難関国公立1(一橋大)、国公立25、難関私大24、MARCH123												
所在地	〒182-0011 調布市深大寺北町五丁目39番地1		電話番号	042-487-1860											
	アクセス	(1) 京王線調布駅下車小田急バス三鷹行(約15分)調布北高前下車徒歩0分 (2) 京王線調布駅下車小田急バス吉祥寺行(約15分)調布北高前下車徒歩0分 (3) JR線三鷹駅下車小田急バス調布北行(約15分)調布北高前下車徒歩0分													
本学	学 科	普通科													
	在 籍 数	715名(男子375名・女子340名)													
情報	教育課程の特徴	土曜授業(1~3学年)、2学年週1日7限演習授業(数学、英語)あり、習熟度授業(数学、英語)、2学年・3学年に特進クラス設置、週33時間授業													
	ホームページ	http://www.chofukita-h.metro.tokyo.jp/		自律経営推進予算	31年度(単位:万円)		2,066		男子:プレザー						女子:プレザー、夏季セーラー
基	募集人員	平成31年度入学選抜 推薦(男子24、女子22)、学力検査(男子99、女子91)													
	入学者選抜情報	29年度入学生	推薦	男子	1.46	30年度入学生	推薦	男子	1.42	31年度入学生	推薦	男子	1.71	学力検査	男子
学力検査	女子			2.55	女子			2.32	女子			2.00	女子		1.63
報	その他	平成25年度入試より、推薦が調査書、作文、集団討論、個人面接とした。													
	主な学校行事	おほむらさき祭(体育・文化・合唱)、海外修学旅行(H26~)、1年全員勉強合宿参加													

目指す学校 (1)意図的・計画的な教育活動を組織的に実施します。その結果として、生徒の情意に火を灯す生徒主体の学校にします。優秀な生徒を導くのは教員集団であることを皆で共有し、生徒の自主自律の精神を育成していく学校にします。(2)学校行事や部活動で培われる力を重視して生徒の帰属意識を高めていきます。また、受験は補欠なき団体戦であることを指導し、帰属意識のある生徒同士がチームとして一体となって文武両道を実践する学校にします。(3)AI時代に向けて5教科全てを学ぶ意義を生徒に指導していきます。その結果として、国公立大学合格者を増やしていく学校にします。将来を見据えて学力を幅広く伸ばさせる学校にします。(4) 新たな時代に遅く生きていけるよう生徒に挑戦する気概を醸成していきます。失敗を恥じるのではなく、前向きに挑む姿勢を高く評価し、その姿勢を褒めて激励していく学校にします。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価									
目 標 ①	【学習指導の充実】 ○進学指導推進校として、組織的な進路指導、学習指導を実現することにより、国公立大学の受験者数及び合格者数の増大と安定化を図ります。○英語教育推進校として、英語4技能の育成に重点を置いたきめ細かい指導等を実施し、生徒の「使える英語力」を向上させていきます。○アクティブ・ラーニング推進校として、生徒が自分の頭で考える習慣を身に付けさせ、生徒が主体的に授業に参加することにより、生徒の達成感を高めさせていきます。	○今年度は新カリキュラム検討という課題に向けて、教科主任会議において教科の枠を越えた全校的な視点で課題を掌握・整理し、学校の目標にかなうカリキュラム作成に着手した。来年度も引き続き取り組む。○都教育委員会の進学指導対策訪問による国語、数学、英語についての指導・助言内容を教科主任が各教科に持ち帰り、生徒の学力向上を図る取組みとして具現化した。学年との連携も保っていく。○自習室は早朝6時40分から19時まで開放、受験直前まで勉強していた受験生がその結果を出した。○アクティブ・ラーニング推進委員会、理数研究委員会が新1年生担任団と連携して、来年度より「総合的な探究の時間」の実践を行って。教科を横断する学校全体としての取組みを始める。									
目 標 ②	【進路指導の充実】 ○理数研究校として、文理を問わず、生徒の探究心を刺激するための取り組みを一層充実させ、将来科学技術等の分野で活躍できる人材を育成します。○クラッシーを活用した進路指導を展開し、入学後の早い段階から生徒に高い進路希望を意識させ、将来にわたって自ら学ぶ意欲を持続発展させるためのキャリア教育の充実と定着を図ります。	○電気通信大学と生徒の「自主研究の取組み支援に関する覚書」を交わし連携を強化した。さらに「東京都教育委員会と国立大学法人電気通信大学との高大接続実施に係る協定書」を成立させた。以上により生徒が大学で学ぶ機会を広げた。○クラッシーを活用して自宅学習時間調査等の結果を踏まえた生徒面談を実施し、自己理解の深化や大学志望学部選択、学習意欲の向上をバックアップした。3年生を対象とした志望校検討会で志望大学の決定や受験対策等の指導を行った。学年毎にキャリア講演会を実施した。○進学指導推進校として、国公立大学や難関私立大学への進学を目指して様々な取組みを実践してきたが、年々進学実績が下降気味である。今回の結果を分析し、次年度に対応できるよう準備を行う。生徒には高等学校の学びをきちんと納めて、然るべき教養を身に付けたくらうで受験を乗り切るようにさせた。									
目 標 ③	【生活指導の充実と特別活動の活性化】 ○生徒の主体性を尊重した学校行事や部活動を奨励し、学業との両立を前提に、限られた時間の中で最大限の効果を発揮できるよう文武両道の推進を図ります。○高校生として守るべきルールやマナーの関する生活指導や道徳教育を充実させるとともに、主権者教育を推進し、地域に係りながら、社会に貢献できる生徒の育成を図ります。○いじめ・体罰のない学校が実現するように、アンケートや聞き取りを実施し、未然防止・早期発見・早期対応に努め、安全な学校で、自らの可能性に挑戦できる環境を整えます。○ホームページなどを有効活用して、日常の教育活動等の情報を発信し、本校の良さを共有してもらい、入学希望者の増大を図ります。	○今年度も生徒主体の活動により学校行事や部活動を充実させることができた。メリハリをつけて限られた時間の中で最大限の効果を発揮できるよう文武両道を継続的に目指していく。○生活指導としては今年度自転車指導に力点を置き、登校指導を随時行ってきたが、近隣の方々からの苦情はあった。このことについては粘り強く生徒に働きかけていくしかない。来年度から東京都の自転車に関する条例が改定されることもあり、生徒自身が自転車の運転に慎重になることを期待する。○さらに課題として取り上げなければならないのは生徒のSNSの使用に関するトラブルについてである。生徒には常に注意喚起を促していく。問題が水面下で起こる傾向が強くなり、新しい状況が連鎖的に発生する分野であるので、専門家に講義してもらう機会を早急に設けたい。									

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容													
	目標①	目標②	目標③	28年度 目標	28年度 実績	29年度 目標	29年度 実績	30年度 目標	30年度 実績	今年度 目標	今年度 実績	32年度 目標	33年度 目標	34年度 目標
目標①	難関国立大学合格者数(現役)			2	0	2	3	5	1	2	0	3	4	5
目標②	国公立大学合格者数(現役)			40	35(31)	50	30(28)	50	26	35	26	35	35	35
目標③	難関私大(早慶上理)合格者数(現役)				23		27		24	30	27	30	30	30